



板垣 良輔 議員
(日本共産党
幕別町議員団)



先般、フランスのパリ市でCOP21(第21回国連気候変動枠組条約)が開かれ、世界共通の長期的目標として、世界の平均気温上昇を地球温暖化産業革命時比2℃未満に抑える合意がされた。

温暖化により、豪雨や干ばつなどの異常気象の頻発や、農作物の生産低下が予想されている。私たちの人間活動の拡大が世界規模の影響を与えることから、環境保全の取組は日常的に行っていく必要がある。町は、まず自治体の事務のうち、できることから行っていくべきではないか。

私たちは、生活の中で生ごみを発生させているが、その中に9割も水分が含まれていることから、可燃ごみとして処理するのに本来適しておらず、また、堆肥などの再資源化を行うのが容易であるということから、ごみの発生抑制をいいやすいものである。

温暖化防止の具体的な目標を設定したパリ協定に倣い、幕別町においても具体的な行動を起こすべ

問 学校給食残渣や家庭生ごみの再資源化を

答 幕別学校給食センターの給食残渣は全量町内養豚業者に

きだと考え、以下のことを伺う。

- (1) 平成18年幕別町地域新エネルギービジョンの進捗状況は。
- (2) 学校給食について
- ① 学校給食の残渣の発生抑制及び再資源化の取組は。
- ② 飼料化処理機や生ごみ処理機の導入の考えは。
- (3) 家庭における生ごみ減量の啓発を。
- (4) 幕別町環境条例の制定の考えは。

町長 (1) 地域新エネルギービジョンでは、新エネルギーの導入目標を平成27年度においてCO2排出削減量を約3900トンと設定していたが、達成状況は6430トン、達成率164%で、目標を大きく上回っている。

教育長 (2) ① ひじきの煮つけなど、和食のメニュー等は残食が多い傾向にあるが、比較的児童生徒が好まないメニューも、教育の一環として調理を工夫し、提供しており、一定程度の残食があるのも現状である。

▼新エネルギーの導入によるCO₂排出削減量

新エネルギーの種類	施設条件	平成27年度 新エネルギー導入目標値		平成27年度 新エネルギー導入目状況		
		導入数	CO ₂ 削減量	導入数	CO ₂ 削減量	目標達成状況 %
太陽光発電	住宅用	400 戸	507 トン	516 戸	2346 トン	462.8
	公共施設	5 施設	47 トン	3 施設	42 トン	89.4
太陽熱利用	住宅用	200 戸	177 トン	284 戸	289 トン	163.3
	建設廃材の燃料化	1 施設	335 トン	1 施設	357 トン	106.6
バイオマス	木質ペレット	200 戸	670 トン	164 戸	559 トン	83.4
	民間	680 台	570 トン	1640 台	1379 トン	242.0
クリーンエネルギー自動車	公用車	10 台	8 トン	12 台	10 トン	125.0

また、残渣の再資源化の取組として、本年11月より町内で養豚を飼育している農業者に幕別学校給食センターの給食残渣を引き取っていただくこととなったが、今後、給食残渣の有効な活用等について検討していきたい。

② 平成17年から24年にかけて忠類学校給食センターで生ごみ処理機を試験導入していたが、機械の導入費用や維持管理経費から費用対効果が発揮されない点等から、導入には至らなかった。

また、飼料化処理機についても、飼料化するためには機器の導入経費や維持管理経費が発生するとともに、残渣物の品質や量が日によって大きく変動することから安定した製造や供給等が困難なことから、導入については難しい。

町長 (3) 生ごみの水切りや乾燥など、排出時の減量化や、段ボールを利用したコンポストによる堆肥化の方法についても推奨していきたい。

さらに、各家庭において、「必要量を小まめに購入する」、「食材を上手に食べ切る」など食品ロス削減の取組も生ごみの減量化につながることから、広報紙やホームページ等を通じて普及啓発に努めていきたい。

(4) 平成20年の第3回町議会定例会において議員提案によって「幕別町環境宣言」が決議された。これは、町民、事業者、行政挙げての一つの決意を表したものであり、条例に代わるものとして捉えているので、この環境宣言に基づく各種計画、施策を進めていきたい。